

昭和44年度活動報告

近畿六大学春季リーグ戦

夏の全国大会への踏台となる春季リーグは、各チームの力が均等化しているので、激戦が予想されていたが、甲南大、近畿大は、さすがに強く他の四校を引離した。しかし、他の四校の中では甲南大に土をつけた神外大の活躍が、目立ち、今季リーグ戦を見るべきものとした。ふり返ってみると、守備力、投手力の安定している甲南大は、さすがに強かった。近畿大も、攻撃力では、リーダーであるが、守備力の差で、二位にあまんじた。神外大は、チームワークによって三位になったが、これからは、よりいっそう、奮起してもらいたい。下位三チームは、練習不足が目につくので、来季からは、よりいっそう訓練を重ね、リーグ戦を興味あるものにしてほしいものである。甲南大は、三シーズン、連続十四度目の優勝である。

◇4月3日西宮市民球場 和歌山大 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1 甲南大 0 1 0 1 0 3 1 2 × 8 (和)永井 後一 蒲田(康) ▽三塁打白田(甲) (甲)藤井一清水 ▽二塁打石原(甲)	◇4月8日西宮市民球場 甲南大 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 3 5 和歌山大 0 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 2 (甲)的崎 藤井一清水 ▽二塁打福山(甲) (和)永井一蒲田(康)	◇4月11日西宮市民球場 神商大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 甲南大 0 0 0 0 0 0 4 0 × 4 (商)天白一長谷川 ▽二塁打福山(甲) (甲)藤井一清水	◇4月14日西宮市民球場 甲南大 0 4 0 0 1 2 0 0 1 8 神商大 0 2 0 0 0 0 0 0 0 2 (甲)的崎一清水 (商)天白一長谷川・山本 ▽三塁打西口(甲)千葉(商) ▽二塁打福山・小林(甲)
◇4月15日西宮市民球場 神外大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 甲南大 0 0 0 0 1 1 0 1 × 3 (外)室津一竹田 (甲)藤井一清水 楠田 ▽二塁打大上・福山・小林(甲)	◇4月18日西宮市民球場 甲南大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 神外大 0 0 0 0 2 0 0 0 × 2 (甲)的崎一清水 (外)馬場一竹田 ▽二塁打柘(外)	◇4月21日西宮市民球場 近畿大 0 0 0 0 0 0 0 1 0 1 甲南大 0 0 0 1 1 0 0 0 × 2 (近)大西一渡久地 (甲)藤井一清水	◇5月1日西宮市民球場 甲南大 0 0 0 0 0 1 0 0 0 1 近畿大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 (甲)藤井一清水 (近)小浜一渡久地 ▽二塁打空(近)
◇4月25日西宮市民球場 大経大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 甲南大 0 0 0 1 0 0 0 0 × 1 (経)古井一宮城 (甲)藤井一楠田・清水 ▽二塁打吉見(経)小林(甲)	◇4月28日西宮市民球場 甲南大 0 1 0 0 1 0 0 0 0 2 大経大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 (甲)藤井一清水 (経)森本一宮城 ▽二塁打石原・藤井・清水(甲) 吉見(経)	表彰選手 最優秀選手 清水宏昭(甲) 最優秀投手 藤井富雄(甲) 八勝〇敗防御率〇 首位打者 吉見進(経) 四割〇分〇厘	ベストナイン (投)藤井富雄(甲) (捕)清水宏昭(甲) (一)吉見進(経) (二)莊司倍生(近) (三)片岡正義(和) (遊)石原俊平(甲) (外)大上兼一(甲) 小林茂(甲) 橋口義信(近)

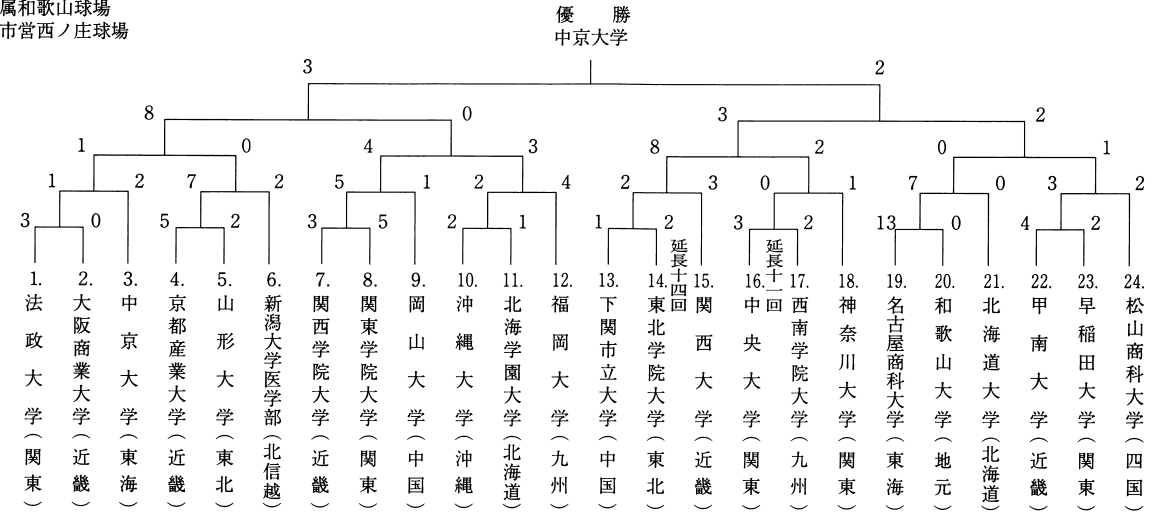
チーム名	甲南大	近畿大	神外大	神商大	大経大	和歌山大	試合	勝	敗	勝率
甲南大	—	〇〇	〇×	〇〇	〇〇	〇〇	10	9	1	900
近畿大	××	—	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	10	8	2	800
神外大	×〇	××	—	〇×	〇〇	〇×	10	5	5	500
神商大	××	××	×〇	—	〇×	〇〇	10	4	6	400
大経大	××	××	××	×〇	—	〇〇	10	3	7	300
和歌山大	××	××	×〇	××	××	—	10	1	9	100

近畿地区大学選手権大会

◇6月16日西宮市民球場(第一回戦) 大阪市大医学部 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 甲南大 0 0 0 0 1 0 0 1 × 2 (市)鄭一中村 (甲)藤井一清水 ▽二塁打西脇・中川(大) 藤井・福山(甲)	◇6月20日西宮市民球場(第二回戦) 近大二部 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 甲南大 0 0 0 0 0 0 1 0 × 1 (近)石井一寺沢 (甲)藤井一清水	◇6月24日西宮市民球場(準決勝) 甲南大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 6 6 関大 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 (甲)藤井一清水 (関)井田一岸田 ▽二塁打宮崎・大上・村上(甲)林(関)	◇6月25日西宮市民球場(優勝戦) 関学大 0 3 0 0 0 0 0 0 0 3 甲南大 0 0 0 0 0 1 0 0 0 1 (関)長野一赤井 (甲)藤井一清水 ▽二塁打浜(長野)(関学)(清水)(甲南)
---	---	---	--

第21回全日本大会

昭和44年8月3日~7日
和歌山県宮紀三井寺球場
住友金属和歌山球場
和歌山市営西ノ庄球場



◇第1日目 和歌山市営球場

早稲田	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
甲南大	0	0	2	0	2	0	0	0	×	4

▽三塁打 小林(甲)
▽二塁打 加藤・船川・新島・並木(早) 藤井(甲)

三回甲南は、一死より、二番の崎四球、三番石原三遊間安打で一、二塁とし、四番小林の右、中間三塁打で二点を先取し、五回にも藤井の二塁打などで二点を追加した。一方、早大は、七回まで二塁打一本を含む三安打に押えられていたが、ようやく八回一死より、九番船川の二塁打を足がかりに、二番新島、三番並木の連続二塁打で二点を返したが、後続なく涙をのんだ。

[甲南大]	打	安	点	四死	三
[早大]	打	安	点	四死	三
⑧	4	1	0	0	0
⑨	2	1	0	2	0
⑥	3	1	0	1	0
⑦	4	1	0	0	0
②	4	2	1	0	0
①	3	2	1	0	0
③	4	0	0	0	0
⑨	3	0	0	0	3
PH8	3	1	0	0	0
④	3	1	0	1	0
計	31	8	4	6	4

◇第2日目 紀三井寺球場

松山商	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
甲南大	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3

▽二塁打 杉野(松) 小林・清水(甲)

一回甲南は、一番大上、三番石原、四番小林、六番藤井が四球を選び押し出しの一点を先取した。一方松山は五回、内野安打と盗塁の八番窪田を二塁に置いて、九番高橋の右前適時打で二、三塁とし、六番藤井の左前打で再びリードした。また松山も八回敵失と送りバントで一死三塁のチャンスをつかみ二番魚岡の内野安打で再び同点としたが甲南も九回二死より中前打と盗塁の四番小林を二塁に置いて五番清水の右中間二塁打でサヨナラ勝した。

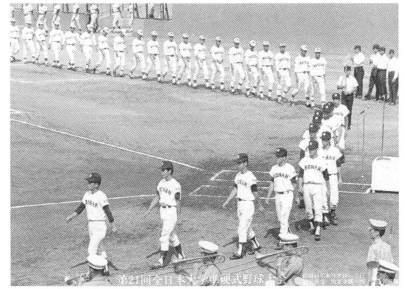
[甲南大]	打	安	点	四死	三
[松山]	打	安	点	四死	三
⑧	4	0	0	1	0
⑨	2	0	0	2	0
⑥	4	2	0	1	2
⑤	5	1	1	0	0
⑦	3	0	1	1	0
②	2	0	0	2	0
①	2	0	0	1	1
③	2	0	0	0	0
⑨	2	0	0	1	0
⑧	2	0	0	1	0
④	2	0	0	1	0
計	27	5	2	10	5

◇第4日目 住友金属球場

甲南大	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
名古屋商科大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

▽二塁打 安藤(名商)

名商は二回、四番安藤の二塁打で無死二塁のチャンスをつかんだが、送りバントの失敗でものにすることができず、五回、八回にも盗塁の失敗でチャンスを潰した。一方甲南は九回までチャンスらしいチャンスもなく四安打に押えられ、両校とも無得点のまま延長戦に入った。甲南は十回一死より、五番清水が敵失で出塁、続く六番藤井右前打、七番宮崎中前打と二連打し貴重な一点を取り、準決勝に進んだ。



◇第5日目 住友金属球場

甲南大	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
関西大	3	0	0	0	0	0	0	0	×	3

▽三塁打 小林(甲)

初回関大は、一番藤本四球で出塁し二塁に成功、二番蔵重の三塁失策で一点、続く三番永岡の右前打で無死二、三塁、四番石田の左犠飛とワイルドピッチで二点の三点を先取した。一方甲南は二回の一死二、三塁のチャンスに決定打なく得点できず、六回まで一安打に押えられていたが、ようやく七回三番石原の中前打と四番小林の右中間三塁打で一点、ワイルドピッチで一点と一点差にしたが後続なく涙を飲んだ。

[甲南大]	打	安	点	四死	三
[松山]	打	安	点	四死	三
⑨	4	1	0	0	0
⑥	4	0	0	0	0
②5	4	1	0	0	1
⑦	3	1	1	1	1
①	3	0	0	1	0
③	3	0	0	1	0
⑧	3	0	0	0	0
⑤	3	0	0	0	0
②	3	0	0	0	0
④	3	1	0	0	0
計	30	4	1	3	2

近畿六大学秋季リーグ戦

夏の全国大会でベスト4まで勝ち進んだ甲南大学に対して他の大学がどのような試合展開をするかが興味をさそった。しかし、甲南大学は前半、神外大に敗れて全く混戦状態になったが、近大が勝率においてトップで甲南大と対戦し、いずれも惜敗し、甲南大は四シーズン連続十五度目の優勝を成し遂げた。今シーズンを今一度振り返ってみると、上位三校、甲南大、近大、神外大は全く混戦で実力伯仲である。又、ずっと最下位であった和大的四位はめざましいものがあつた。今季三位に台頭した神外大の善戦も又、見事であったしかし最下位に転落した経大には、奮起をうながしたいものである。

◇9月8日 兵庫相互銀行球場

和 大	0	0	0	0	0	0	0	0	1
甲南大	0	0	0	0	0	1	0	1	2

▽二塁打 山本(和)
勝投 的崎 敗投 堺

◇9月13日 兵庫相互銀行球場

甲南大	0	0	0	0	1	0	3	2	6
和 大	0	0	0	0	0	0	2	0	2

▽二塁打 白石・山本・加藤(和)
▽三塁打 大上(甲)

◇9月17日 兵庫相互銀行球場

経 大	0	0	0	0	0	2	2
甲南大	2	1	0	2	0	3	8

▽二塁打 福富・吉見(経)
▽三塁打 小林(甲) 勝投 的崎 敗投 森本

◇9月18日 兵庫相互銀行球場

甲南大	2	0	2	0	1	0	0	1	6
経 大	0	0	0	0	0	0	0	0	0

▽二塁打 楠田(経)
勝投 的崎 敗投 宮城

◇9月19日 兵庫相互銀行球場

商 大	0	0	0	0	0	0	2	0	2
甲南大	0	0	0	0	1	3	2	6	6

▽二塁打 福山(甲)
勝投 的崎 敗投 岡田

◇10月20日 兵庫相互銀行球場

甲南大	3	0	0	1	0	0	1	0	5
商 大	0	0	0	0	0	0	0	0	0

勝投 的崎 敗投 天白

◇10月22日 兵庫相互銀行球場

外 大	0	0	4	0	0	0	0	0	4
甲南大	2	0	2	0	0	0	1	0	5

▽二塁打 楠田(甲)
▽三塁打 福山(甲) 勝投 福山 敗投 馬場

◇10月24日 兵庫相互銀行球場

甲南大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外 大	0	2	0	1	0	0	0	0	3

▽二塁打 出(外)
▽三塁打 小松(外) 勝投 馬場 敗投 的崎

◇10月27日 兵庫相互銀行球場

近 大	0	0	3	0	0	0	0	0	3
甲南大	0	0	0	0	4	0	0	0	4

チーム名	甲南大	近畿大	神外大	和歌山大	神商大	大経大
甲南大	○	○	○	○	○	○
近畿大	×	○	○	○	○	○
神外大	○	×	○	○	○	○
和歌山大	×	×	×	○	○	○
神商大	×	×	○	×	○	○
大経大	×	×	×	○	○	○

○勝 ×敗

	勝数	敗数	引分数	総得点	総失点	勝率
甲南大	9	1	0	46	17	0.900
近畿大	7	3	0	56	25	0.700
神外大	7	3	0	31	21	0.700
和歌山大	3	7	0	25	60	0.300
神商大	2	8	0	22	36	0.200
大経大	2	8	0	21	42	0.200